

科目名	美容学							年度	2024
英語科目名	Cosmetology							学期	後期
学科・学年	応用生物学科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	森内 寛・非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		美容部員		
【科目の目的】 皮膚の構造と生理学的背景を基に、美容を創造するための基本的な知識と実践的なスキルを習得する。									
【科目の概要】 皮膚の作りや生理学的背景をもとに、どの様に美を創造するのか学びます。									
【到達目標】 A. 皮膚の構造と生理学的機能について理解する B. 美容成分や製品の科学的な基礎を学ぶ C. 美容の基本的な技術や手法を習得する D. 個々の肌質や問題に合わせたケア方法を理解する E. 美容に関する科学的知識を応用して問題を解決する能力を育成する									
【授業の注意点】 本授業の理解には、2年次前期開講科目「化粧品科学」の知識が不可欠のため、知識の定着が不十分の者は必ず復習しておくこと。 遅刻・欠席は授業を理解できなくなる主原因である。日々の体調管理をしっかり行い、授業にはすべて出席できるようにすること。復習を必ず行い、授業内容をその日のうちに定着させること。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	皮膚の構造と生理学的機能について深い理解を示し、実生活における応用が可能	皮膚の基本的な構造と生理学的機能を正確に説明し、美容への応用が見られる	皮膚の構造と生理学的機能を一般的に説明できるが、深い理解に欠ける	皮膚の基本的な構造と生理学的機能をあまり理解できていない	皮膚の基本的な構造と生理学的機能を理解できていない				
到達目標 B	美容成分や製品の科学的な基礎を詳細に理解し、実際の美容製品に対する深い洞察を示す	美容成分や製品の科学的基礎を正確に説明し、実際の美容製品選択に役立てる	美容成分や製品の科学的基礎について一般的な理解があり、基本的な製品選択ができる	美容成分や製品の科学的基礎について理解が不十分で、製品選択に影響がある	美容成分や製品の科学的基礎について理解が不足している				
到達目標 C	基本的なスキンケアとメイクアップ技術を高度に習得し、実践的なスキルを実証	基本的なスキンケアとメイクアップ技術を正確に実践でき、基本的な美容スキルを示す	基本的なスキンケアとメイクアップ技術を理解し、一部の実践が可能	基本的なスキンケアとメイクアップ技術の理解が不十分で、実践が困難	基本的なスキンケアやメイクアップ技術について理解しておらず、実践できない				
到達目標 D	個々の肌質や問題に対して適切なケア方法を詳細に説明し、実践できる	個々の肌質や問題に対して適切なケア方法を正確に理解し、一部の実践が可能	個々の肌質や問題に対して一般的なケア方法を説明できるが、実践には至らない	個々の肌質や問題に対するケア方法について理解が不十分で、実践が難しい	個々の肌質や問題について全く理解しておらず、ケア方法を提案できない				
到達目標 E	美容に関する科学的知識を深く理解し、実際の美容課題に対して創造的で効果的な解決策を提案する	美容に関する科学的知識を正確に応用し、問題解決能力を実証する	美容に関する科学的知識を一般的に理解し、基本的な問題解決能力がある	美容に関する科学的知識の理解が不十分で、問題解決能力が限定的	美容に関する科学的知識について理解しておらず、問題解決能力がない				
【教科書】 なし									
【参考資料】 必要に応じてプリント教材を配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】 出席率ならびに、課題や小テスト等の取組み、試験成績を総合的に評価して決定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		美容学				年度	2024
英語表記		Cosmetology				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	皮膚の基本構造と生理学的機能	皮膚の構造と生理学的機能を学び、美容における重要性を理解する。	1	皮膚の層構造と各層の機能	皮膚の基本的な構造と機能を説明できる。	1	
2			2	皮膚の生理学的プロセス	皮膚の生理学的プロセスが美容に及ぼす影響を理解する。	1	
3	美容成分と製品の科学的基礎	美容成分が皮膚にどのように作用するかを理解し、科学的な製品選択の基準を学ぶ。	1	主要な美容成分の種類とその効果	美容成分の種類とその効果を説明できる。	1	
4			2	美容製品の開発と科学的評価のプロセス	美容製品の科学的評価の基準を理解する。	1	
5	基本的なスキんケアとメイクアップ技術	基本的なスキんケアとメイクアップの技術を学ぶ。	1	スキんケアの基本的な手順	基本的なスキんケアの手順と理由を説明できる。	1	
6			2	基本的なメイクアップのテクニックと応用法	基本的なメイクアップ技術を理解する	1	
7	肌質と問題に対する個別化されたケア	個々の肌質や問題に合わせた適切なケア方法を理解し、実践する能力を磨く。	1	肌質別ケア方法	個々の肌質に合わせたケア方法を説明できる。	1	
8			2	主要な肌トラブル（ニキビ、シミなど）への対処法	主要な肌トラブルに対する対処法と予防策を理解する。	1	
9	美容に関する科学的知識の応用	科学的知識を活用して美容の課題を解決する能力を育成する。	1	美容に関する実際の問題の分析と解決策の提案	科学的知識を活用して美容の問題を分析し、解決策を提案できる能力を向上させる。	1	
10			2	最新の美容技術や研究の紹介と議論	最新の美容技術や研究について理解し、議論できる。	1	
11	プレゼンテーション準備とフィードバック	美容に関する課題をプレゼンテーションで伝える準備をし、フィードバックを受け入れ、改善する能力を発展させる。	1	美容に関するプレゼンテーションの準備と計画	美容に関するプレゼンテーションの準備と計画を行う能力を向上させる。	1	
12			2	フィードバックセッションと自己評価の実施	フィードバックを受け入れ、プレゼンテーションの改善点を明確にする能力を育成する。	1	
13	最終プレゼンテーション	最終プレゼンテーションで全ての学習成果を実践し、自己の成長を振り返る	1	最終プレゼンテーションの実施	最終プレゼンテーションを通じて美容学の学習成果を実践する。	1	
14			2	振り返りと今後の自己改善計画の立案	学習の振り返りを行い、今後の自己改善計画を立案する能力を向上させる。	1	
15	まとめ	第1回から14回までの内容を総復習する。	1	第1回から14回までの内容を総復習する。	第1回から14回までの内容を理解している。	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等